

G-2:知的財産

開催日時・会場 9月15日(水曜日) 9:00-10:30 WEB-ONLY

アカデミア・特許事務所・知財コンサルティング の視点から考える知財戦略

大学等では日々貴重な研究成果が生まれているが、それらを実用化して社会に還元するためには研究成果を知的財産権で適切に保護し、活用する必要がある。

その中で、企業は事業からアプローチした研究開発を行っているため出口が明確であるが、大学等は研究活動からアプローチするため出口が不明確となってしまうケースが見受けられ、大学等が経営レベルで知的財産マネジメントを実践するためには適切な知財戦略の策定が求められている。

また、2020年6月には文部科学省及び経済産業省によって「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン【追補版】」が取りまとめられ、大学等と企業が互いを対等なパートナーとして認識し、共に新たな価値の創造を志向した「組織」対「組織」の本格的な連携を行うことの重要性が述べられている。

このような状況を踏まえ、本セッションでは、株式会社理研鼎業の浅野良介弁理士、特許業務法人IPXの奥村光平弁理士、株式会社パソナナレッジパートナーの中西淑人弁理士をお招きし、アカデミア・特許事務所・知財コンサルティングのそれぞれの立場からご講演いただく。浅野弁理士には、アカデミアの立場から特許出願時や企業との共同研究時に注意している点についてお話し頂くことを予定している。奥村弁理士には、特許出願の際に気をつけるべきポイント、大学等に向けたアドバイスについてお話し頂くことを予定している。中西弁理士には、調査、コンサルティング、信託といった大学等に対する知財支援、大学支援の事例についてお話し頂くことを予定している。

アカデミア・特許事務所・知財コンサルティングのそれぞれの視点から提言をいただき、大学等における知財戦略について考える機会となれば幸いである。

オーガナイザー

喜多 健太:金沢大学・先端科学・社会共創推進機構・
特任助教



2011年に電機メーカーに入社後、社会インフラ事業の知的財産担当として発明発掘、特許出願、中間処理等の権利化・調査業務を中心に従事。2017年に金沢大学に着任後、知的財産業務及び産学官連携業務に従事し、現在に至る。

講演者

浅野 良介:株式会社理研鼎業・ライセンス部 ・コーディネーター



2009年より、電機メーカーにて特許出願権利化業務を中心とした知的財産業務に従事。2019年当社設立時に現職着任後、共同研究契約締結を中心とした法務業務に従事。2021年より契約締結業務に加え特許出願権利化及び実用化業務に従事。

奥村 光平:特許業務法人IPX・代表弁理士COO/CTO



08年早大理工卒、10年東大情報理工修士修了、12年JSPS特別研究員、13年同博士修了、博士（情報理工学）。その後、特許事務所勤務を経て、18年特許業務法人IPXを設立し、現在に至る。情報処理分野の特許実務に強みを持つ弁理士。趣味は特許実務のDX。実務支援の日本の弁理士の中でも有数の知名度を誇り、自身の手掛けたシステムを特許取得する反面、業界の発展のために弁理士向けのシステム開発のセミナーを実施することもある。

中西 淑人:株式会社パソナナレッジパートナー・ 知財ソリューション事業部・グループ長



パナソニック株式会社のR&D部門において高周波無線回路等の研究開発に従事後、同社知財部門において、知財戦略の策定、特許の価値評価などの知財コンサルティングを担当。
2018年に現在の会社に異動し、AMED、大学などから調査業務等を受託し、大学の知財活動をサポートしている。
資格：弁理士、AIPE認定 シニア知財アナリスト